

令和3年10月5日

課 名 環境県民局環境保全課

担当者 課長 岡田

内 線 2916

「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」による海岸清掃の実施について

1 趣旨・目的

2050年までに新たに瀬戸内海に流出するプラスチックごみの量をゼロにすることを目指し、関連する企業・団体等で本年6月に設立した「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム (GSHIP)」の参画会員等による海岸清掃を、新たに宮島包ヶ浦自然公園において実施する。

2 現状・背景

GSHIP では、①プラスチックの使用量削減、②プラスチックごみの流出防止、③清掃・回収、④情報の収集、発信、共有の4つを取組の方向性の柱としている。本清掃活動は、企業・団体等と連携した効果的な清掃、回収の具体的な取組として実施するもの。

3 概要

(1) 実施主体

ア 主催

GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム

海洋ごみ問題ジブンゴト化プロジェクト in 広島 (日本財団)

イ 協力

一般財団法人広島県環境保健協会、みやじま未来ミーティング

(2) 日時

令和3年10月9日(土) 10:00~12:00

(3) 場所

宮島包ヶ浦自然公園 (広島県廿日市市宮島町1195)

(4) 参加者

GSHIP 参画会員の役員、社員及びその家族等 (12社・団体、約80名程度)

(5) 実施内容

清掃活動のほか、漂着ごみに関する学習会を開催し、海洋ごみ問題への理解促進と行動の実践を図る。

4 その他 (新型コロナウイルス感染拡大防止対策)

清掃活動時におけるマスクの常時着用、身体的距離の確保等、「新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策について」(令和3年9月28日新型コロナウイルス感染症広島県対策本部決定)に基づいて、感染防止対策を徹底する。



GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム (GSHIP)

海洋プラスチックごみに係る課題を解決するため、飲料メーカーやプラスチックの素材・製品製造メーカー、小売・流通事業者等幅広い企業等を参画メンバーとして、令和3年6月に設立し、プラスチックの代替素材への転換や効果的な回収の取組、普及啓発活動等の取組を推進していくプラットフォーム。

